

代表質問

3月定例会では代表質問として3人以上の議員で構成される会派から4人の議員が質問に立ちました。
※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています

平塚クラブ

片倉 章博 議員

議案第19号 平成23年度 平塚市一般会計予算

問 市長マニフェストの進捗よく・達成状況と、マニフェストの23年度一般会計予算への反映状況について見解を伺う。

市長 マニフェストに掲げたすべての事業を平塚市総合計画実施計画に反映させ、ほぼ達成できたと考えている。また23年度予算に反映させたものは、次期環境事業センターの建設や駅西口跨線橋のバリアフリー推進に伴うエレベーターの設置、学校図書館司書の配置等の事業がある。

問 新庁舎建設工事発注におけるWTO協定の適用について、どのようになったのか経過を含め伺う。

市長 WTO協定適用の可否については、入札の公告事項に関する内容なので、具体的には答えられないが、少なくとも本市はWTO協定の対象ではない。

問 障がい者団体から市民フロアの活用、売店の併設に関して陳情があげられている。このような活用方法に対して考えがあれば伺いたい。

副市長 福祉団体から要望書が届いている。新庁舎建設に当たっては、市民の利用を考え、より多くの来庁者の目に付く場所に空間を確保することを検討している。福祉部局とも調整して進めていきたい。

問 町内福祉村は現在9地区で開設されているが、2地区増え11地区になる計画が示されている。富士見地区ではその地区の社会福祉協議会に運営を委託することだが、今後新設をする場合どのように委託していくのか。

福祉部長 地区社協が運営を受託できるようにしたこと、福祉村設立の幅が広がったのではないかと考えている。富士見地区の町内福祉村も地区社協が受託したが、これらの活動状況を踏まえ、新しい町内福祉村の設立に向けていろいろ努力をしていきたい。

問 待機児童について、平成23年4月には民間保育所や認定保育園の新設などで解消されるというところだが、その後はどうか。また幼保一元化の状況も伺いたい。

健康・こども部長 年齢や地域などの要素もあるが、通年では待機児童が発生するものと予測している。この場合もさまざまな対策があるが、その一つとして認定保育園をお願いすることも考えている。幼保一元化に関する検討の状況は、企画部が中心となり教育委員会、こども家庭課を構成員として研究会を開き協議を進めている。

問 見附台地区全体の事業を検討しているとのことだが、実際に施設に入る団体などについても検討しているのか。大きな土地利用になるので、どのように展開していくのか伺う。

まちづくり事業部長 対象のエリアには見附台体育館の跡地と平塚市文化スポーツまちづくり振興財団が開設している駐車場、錦町の駐車場の3か所がある。その中で体育館の跡地と市民センターがある場所を優先し、市民センターや公民館が入る複合施設とすることを検討している。この整備方針については23年度中に取りまとめをしていきたい。その後、民間活力を導入するための手続きに入っていきたいと考えている。

湘南民主クラブ

山原 栄一 議員

市長勇退

問 平成23年2月8日の記者会見で、大蔵市長は次期市長選に出馬しない意向を表明したことを報道で知った。議会ならびに26万市民に対し、大蔵市長から直接「市長勇退宣言」をいただきたい。

市長 私は次期市長選に立候補しません。この8年間「任んでよかったまち平塚」「住み続けたいまち平塚」のためにいろいろな角度から議論をいただき、前に進めることができたことに心から感謝申し上げます。多くの市民がかかわりつくりあげた自治基本条例や、平塚市総合計画をはじめ、市民との協働を基本に市政を進め、私の政治姿勢の基軸を全うすることができた。また、本市の将来に不可欠である大型事業に今後の道

筋をつけることができたことも、大きな成果の一つと述べている。

問 教育環境の整備に向けて今後の取り組みを伺う。

市長 これまでの取り組みを着実に継続して積み重ね、未来を託す子供たちに最善の教育環境や条件をつくっていくことが大切であると述べている。

問 湘南ひらつかパークゴルフ場の利用向上に向けた今後の取り組みを伺う。

市長 利用者の利便性の向上を図るため、20人以上の団体を対象に事前予約を始める。また、市民総合体育大会のニュースポーツの部としてパークゴルフの大会を開催する予定である。

問 つどいの広場「きりんのおうち」など、子育て支援環境の整備に向けた取り組みを伺う。

市長 26年度までにつどい

総合計画の課題から

市長 勇気・やる気

平塚市の民営化

問 これまでに指定管理者制度を適用した施設と効果について伺う。

企画部長 現在45施設に適用している。財政効果としては、18年度から21年度までの決算ベースにおいて累計で約3600万円が削減されている。

問 指定管理者制度を今後どのように推進し、民営化していくのか見解を伺う。

企画部長 施設の設置目的、特性などを踏まえ、施設ごとに方針を定めている。「びわ青少年の家」「土屋霊園」については導入に向けた検討をしている。

問 放置自転車対策は、商店会や平塚警察署などと協議し、関係団体協力のもと指導を強化していく。

問 平成22年12月3日、大雨に伴い岡崎地区で住宅の床上浸水や車の水没が発生し、多くの道路や水路も冠水した。安心して暮らせる災害に強い安全なまちに向けた浸水対策が急がれるが、対応を伺う。

市長 岡崎地区の根本的な浸水対策としては、田川や金目川の改修があるが、同時に新川排水路の断面拡幅について県などと協議を進めている。さらには西海地排水路の拡幅に向けた詳細設計を進め、整備に向け検討している。23年度は内水はん濫ハザードマップを作成し、情報提供を行う。

問 市役所新庁舎建設をはじめとする三大事業を進めていくため、市民に財源の見通しをきちんと示してほしい。

副市長 庁舎建設基金から70億円、国庫支出金から44億円、市債が194億円、一般財源から9億円であり、22年度から27年度までの6年間で支出していく。

湘南民主クラブ

山原 栄一 議員

市長勇退

問 平成23年2月8日の記者会見で、大蔵市長は次期市長選に出馬しない意向を表明したことを報道で知った。議会ならびに26万市民に対し、大蔵市長から直接「市長勇退宣言」をいただきたい。

市長 私は次期市長選に立候補しません。この8年間「任んでよかったまち平塚」「住み続けたいまち平塚」のためにいろいろな角度から議論をいただき、前に進めることができたことに心から感謝申し上げます。多くの市民がかかわりつくりあげた自治基本条例や、平塚市総合計画をはじめ、市民との協働を基本に市政を進め、私の政治姿勢の基軸を全うすることができた。また、本市の将来に不可欠である大型事業に今後の道

筋をつけることができたことも、大きな成果の一つと述べている。

問 教育環境の整備に向けて今後の取り組みを伺う。

市長 これまでの取り組みを着実に継続して積み重ね、未来を託す子供たちに最善の教育環境や条件をつくっていくことが大切であると述べている。

問 湘南ひらつかパークゴルフ場の利用向上に向けた今後の取り組みを伺う。

市長 利用者の利便性の向上を図るため、20人以上の団体を対象に事前予約を始める。また、市民総合体育大会のニュースポーツの部としてパークゴルフの大会を開催する予定である。



開設から1年が経過したつどいの広場「きりんのおうち」(四之宮)



早急な浸水対策が望まれる西海地排水路沿いの冠水状況(岡崎)

※WTO協定：政府調達に関する国際条約に含まれる協定。政府調達に国外企業が参入しやすくなるように、一定の基準額以上の物品やサービスの調達に際して所定の手続きをとることを定めている。